

2021年11月19日
株式会社東陽テクニカ

「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021」に出展

～「第14回インフラ検査・維持管理展」で

水中や水辺を中心としたインフラの維持管理に関わるソリューションを紹介～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、2021年11月24日(水)からの三日間、東京ビッグサイトで開催される「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021」の構成展「第14回インフラ検査・維持管理展」に出展いたします(ブース番号：MB-037)。東陽テクニカのブースでは、水中や水辺を中心とした社会インフラの維持管理に役立つソリューションを中心に展示、ご紹介いたします。

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021

第14回 道路、橋梁、トンネルなどの点検・診断・修繕・更新に関する専門展示会

インフラ検査・維持管理展

【 イベント概要 】

- 開催展名：メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021 第14回インフラ検査・維持管理展
- 会期：2021年11月24日(水)～11月26日(金) 各日 10:00～17:00
- 場所：東京ビッグサイト(青海展示棟)
- ブース番号：MB-037
- イベント公式サイト：<https://www.jma.or.jp/mente/tokyo/index.html>

【 主な展示製品 】

●高精度水中レーザースキャナ「Insight Micro」(VOYIS 社製)

水中で、ミリオーダーの超高分解計測(1ラインあたり2,464点)が行えます。水中の構造物の検査など維持管理に最適です。



「Insight Micro」

●高機動性 ROV「SRV-8」(RJE Oceanbotics 社製)

潜水士の代わりに水中の調査が可能な無人探査機(ROV)。水中での機敏な動きに加え、操作が容易な点も大きな特長です。さまざまなセンサーを搭載することができ、用途に応じたメンテナンスが可能です。



「SRV-8」

● 2周波水中音響カメラ「ARIS」(Sound Metrics 社製)

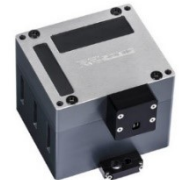
水中で超音波を使用することで、光学カメラでは見えなかったものを詳細に観察することができる音響カメラです。濁水中での構造物の把握に最適です。



「ARIS Explorer 3000」

● キュービクマルチビーム測深機「Sonic2020」(R2Sonic 社製)

小型・軽量に特化したワイドバンドマルチビーム測深機です。海底の状況を把握することで構造物の崩落や破損を確認することが可能です。



「Sonic2020」

● 定常監視向け 1ch テレメトリ「T1-PCM」(KMT - Kraus Messtechnik 社製)

10cm以下の小径シャフトから1m以上の大径まで対応可能な温度・歪計測対応シングルチャンネルテレメトリ(無線計測)システムです。バッテリーレスでシャフト停止状態でも電源供給可能なため、水門などの無人常時監視に最適です。



「T1-PCM」

◆ 出展お知らせページ:

<https://www.toyo.co.jp/kaiyo/seminar/detail/mente/tokyo/21>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト: <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

Email : marketing_pr@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。